

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会
SOLAS小委員会（第26期・第1回）議事要旨

1. 日時 令和6（2024）年12月16日（月）14:00～15:30
2. 会場 Zoomによる遠隔会議
3. 出席者：植松 光夫、谷本 浩志、相木 秀則、伊藤 彰記、岩本 洋子、
亀山 宗彦、竹谷 文一、中岡 慎一郎、長島 佳菜、西岡 純、
野村 大樹、濱崎 恒二、宮崎 雄三、安中 さやか
欠席者：張 勁、原田 尚美、角皆 潤
4. 資料1： 第26期SOLAS小委員会 設置提案書
5. 議事内容
議事に先立ち、世話人の宮崎委員から資料1に基づき、本小委員会の設置目的について説明があった。出欠確認を兼ねて各委員の紹介があった。
 - (1) 第26期SOLAS小委員会役員の決定について
 - ・委員長に宮崎委員、幹事に岩本委員と安中委員を選出した。
 - (2) 議事要旨の委員長一任について
 - ・宮崎委員長から説明がなされ了承された。
 - (3) 委員間のメールアドレス共有について
 - ・宮崎委員長から説明がなされ了承された。
 - (4) 第26期の活動内容について
 - ・宮崎委員長から資料1に基づき、本小委員会の活動方針について説明があった。
 - (5) 報告事項
 - ・国際SSC委員である野村委員より2024年11月にインド・ゴアにて開催されたSOLAS Open Science Conference (OSC) の参加報告があった。OSC全体での参加者数は200名程度であった。日本人の参加者は6名で、口頭発表やサイドミーティング、若手会等を通して一定の存在感を示すことができた。次回OSCは2027年に開催予定であるが開催地は未定である。

・野村委員よりSOLAS-SSCで直近に議論された国際SOLASのスポンサー状況や収支報告、関連プロジェクトやサマースクール案、SOLAS New Science Plan 3.0の作成状況等について報告があった。次回OSCの開催地・開催時期についてはIGAC等関連するOSCとの開催連携・提案についても議論された。関連して谷本委員よりIGAC、西岡委員よりGEOTRACESについてそれぞれ国際的な動向の情報提供があり、リエゾンを介したSOLASとの連携を推進する可能性についてコメントがあった。

・SOLAS-Japanのウェブサイト・メーリングリストは引き続き亀山委員、宮崎委員長を中心として管理を継続していくことが確認された。

(6) その他

・濱崎委員より令和5～7年度学術研究船白鳳丸共同利用研究であるSOLAS航海観測の報告があった。同じく継続した航海観測計画として令和8～10年度の同研究航海計画の応募について報告があった。

・国内関連学会として、JpGUでのSOLAS関連セッションについて亀山委員より過去5年間の開催状況と2025年の開催予定の報告・説明があった。併せて宮崎委員長より、2025年7月に韓国・釜山で開催されるBAC02025でのSOLAS関連セッションの情報提供や、岩本委員・野村委員より関連する研究集会・国際会議等の情報提供があった。小委員会委員や関係する研究者の積極的な協力・参加の依頼があった。

以上。